

四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立塩浜小学校

校長 山田 賢治

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

塩浜小学校コミュニティスクールでは、塩浜小学校の「学校づくりビジョン」に掲げる学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、進んで行動する子を育む」の達成に向け、学校・地域・保護者の連携を密にした協働を進めることをねらいとして活動している。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

運営協議会は、「学識経験者、自治会代表、民生児童委員代表、社会福祉協議会代表、PTA代表、教職員代表等」で構成し、年間5回の会議を開催し、保護者や地域住民の学校教育活動への参画のあり方を協議するとともに、具体的な取組内容や実施時期等について調整を図っている。

本校の学校づくりビジョンでは、重点目標として、「確かな学力の定着」「こころとからだの健全な育成」「よりよい未来社会を創造する力の育成」「すべての子どもの成長をサポートする教育の実現」「学校教育力の向上」の5つの柱を示している。

各回の運営協議会では、子どもの様子を参観していただき、学校教育活動に関わる様々な分野をテーマに活発に話し合いを行った。

1学期の「認証式・1年生を迎える会」、2学期の「縦割り班活動」「校内作品展」

「校内音楽会」、3学期の「六年生を送る会リハーサル公開」を参観・協議していただくことができた。その中で小規模化する中学校区の課題解決のために、小中連携のより良い在り方についても協議する機会を持つことができた。

今後も、「地域とともにある学校づくり」を進めていくため、コミュニティスクールにおいてよりよい学校のあり方を協議し推進していきたい。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

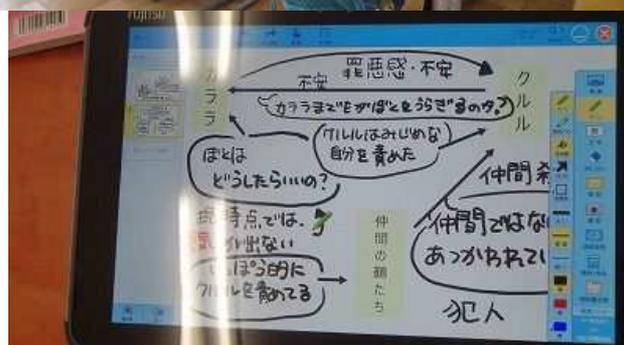
学校教育活動の参観や報告を通じて、委員の皆さまに学校の取組を理解していただくとともに、適切な助言をいただくことができた。学校づくりビジョンに示した5つの柱について、コミュニティスクールでいただいた主なご意見を、以下に報告する。

＜重点目標1＞「確かな学力の定着」

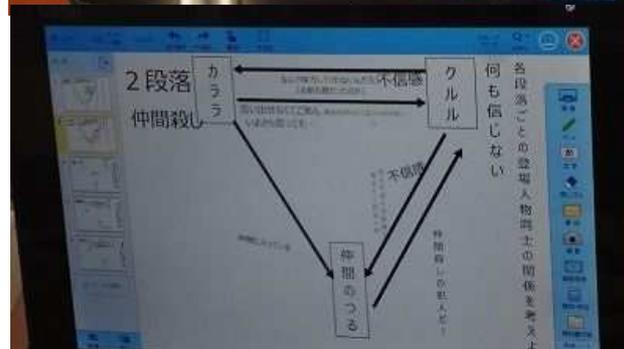
- 1年生がきちんと静かに座れている。今日の1年生を迎える会では、「やるべきときはやる！」という具合にメリハリがつけられている姿を見ることができて良かった。友達と関わる中で学ぶことができてきているようだ。



- タブレットを活用した授業も充実しており、自宅でも子どもがかなり速いスピードでタイピングする姿が見られる。また、知らない言葉にも興味を持って理解しようとする姿があり、学校で学んでいる姿を垣間見ることができる。



- 学級によって、挙手のあげ方、指名の仕方、指名されないでも自由に発言できるやり方等、様々だが、発言者の方を見て聞こうとする姿勢は一致している。子どもたちが集中して話を聞けるように、授業によって工夫していることがわかる。



- 6年生の教室では、ノート代わりにタブレットにメモを取る姿が見られた。それも、ある子は友達の見聞を聞いて、キーボードで打ち込んでいるし、ある子はタッチペンで手書きして書き込んでいる。それぞれが自分のやり方で活用している姿が見られた。隣の子との交流も図っていて素晴らしい姿が見られた。

- 孫の高校入試に「あなたの誇れるところは何ですか」（50分以内、500字以内）という課題が出されたそうだ。自分も取り組もうとしたが、まず「自分の誇れるところ」を探るところから苦労した。自分のことを理解した上で限られた時間、限られた条件で作文を書く力（表現力）が問われる。4月の全国学力・学習状況調査も同様の力をねらっている。これからも、そのような力を育んでもらいたい。

＜重点目標2＞「こころとからだの健全な育成」

- ・合唱がとにかく素晴らしい！高音をきれいに歌い上げられる指導がしっかりされている。合唱を聞くだけで、感動で目頭が熱くなり、胸にこみあげてくるものがある。
- ・1年生が音楽に合わせて歓声をあげながら友達と繋がっていく様子は、友達との関係が進む手立てが取られていて、大変素晴らしい。
- ・作品展では、「1年生でこのクオリティの高さか！」「6年生は流石、すごい！」等、感動して見せてもらった。「作ってみようかな」という発想や意欲がすごい。昨年度、21年ぶりに磯津の鯨船行事が復活したが、それに触発されたのか、校内作品展に「鯨船」や「鯨」の作品が出ていて微笑ましい。それだけ、子どもたちにとって影響力のあるものだったのだろう。



＜重点目標3＞「よりよい未来社会を創造する力の育成」

- ・東京大学の入学式で、学長が「創造性を育む経験学習が大事である」という話をされたようだが、塩浜小学校では、キッズ農園での栽培・収穫体験等、地域との繋がりの中で、子どもたちは様々な経験・体験をすることが出来ている。
- ・6年生は、教員から促されなくても自ら動き、自分の役割をしっかりと理解していて素晴らしい。上級生が落ち着いて、良いお手本を示してくれているため、下級生が真似ることができている。
- ・3月の卒業式における子どもたちの姿にも感動した。雛壇から保護者や在校生、それぞれの立場の人に向けて、旅立ちの決意、中学校へ向けての抱負、感謝の思い等を、心を込めて伝える姿が見られた。人数は少ないものの他校に引けを取らない立派な姿であった。
- ・縦割り班活動では、高学年に全体をまとめる力や責任感が育まれる。塩浜小学校がよい方向に向かっていると感じる。低学年から高学年まで子どもたちが仲良く遊ぶ様子が微笑ましかった。高学年が片付けも率先して責任をもって行っており、頼もしく感じた。



- ・縦割り班活動は、今回は2つの班が合体して、より多くの子と交流が出来る機会を意図的に作っており、感心した。小規模校で新しい関わりが生まれにくい状況を克服するための手立てを打っていると感じた。それぞれが活発にコミュニケーションを図っていた。

＜重点目標4＞「すべての子どもの成長をサポートする教育の実現」

- ・算数科の少人数授業は、私たちの時代にはなかったもので、算数が苦手な子や保護者にとっては大変ありがたい取組である。少人数のため、子どもたちも発言しやすく学習を理解しやすいと思う。小規模校、少人数ならではの取組を期待したい。
- ・全国学力学習状況調査では、複数の資料を読み取り「○字以内でまとめなさい」というものが苦手な傾向がある。ここに力を入れて取り組んでいく必要がある。その学年で、身に付けるべき生きていく力を育ていけるように先生方が取り組んでいることがよくわかった。



＜重点目標5＞「学校教育力の向上」

- ・学校づくりビジョンが、分かりやすく整理されて示されている。そのビジョンに基づいて、ほぼ網羅されて各取組が行われていることが分かる。そして、その取組も年々工夫を凝らしていることが伺える。
- ・来年度は、小中で年間1回はコミュニティスクールを合同開催する方向で調整する旨を聞いたが、魅力ある塩浜地区の未来を協議できることを楽しみにしている。地域のお年寄りが「昔の遊び」を子どもたちに教えることや、図書ボランティア等、地域で協力できることを考えていきたい。



地域の教育力を生かした特色ある教育活動についての実践事例



校庭の環境整備活動



塩浜音頭伝承学習



地元企業によるキャリア教育



企業連携による出前授業



地域探検てくてく



キッズ農園での体験活動



図書ボランティアによる読み聞かせ

地元専門学校歯科衛生学科による出前授業

主体的な学びをつくりだす授業づくり、全校が交流する縦割り班活動、他校とのオンライン交流授業、子どもたちが収穫を楽しみにしているキッズ農園での栽培活動等、多様な学習体験の場の設定により、児童・保護者の各アンケートの結果では、「学校は楽しい」「楽しく学校生活を送っている」という質問に対する肯定的な回答の割合は88%・89%という結果が得られた。

また、「地域の方と活動をしたり、あいさつをしたりすることができますか」という質問に対する肯定的な回答の割合は84%と高評価だった。

さらに、「安全に集団登校や下校ができるように、気をつけていますか」という質問に対する肯定的な回答の割合については、97%で高い数値であった。これは、平素より登下校を見守っていただいている保護者や地域の方々のお陰である。

3 今後に向けて

コミュニティスクールにおける委員の皆さんのご意見から学校の取組を一步ずつ前進させることができている。

「運動会の児童宣誓の声の響きや6年生児童代表による言葉が、大変良かった。全校のみんなのことについても触れ、自分達6年生のことも話すという素晴らしい挨拶だった」「音楽会の歌声を聞かせてもらい、心から感動し泣きそうになった。司会の子が話す内容にも感動した。」等のご意見をいただき、取組の方向性が間違っただけではなかったことを確認できた。

一方で、今後の課題として、「子どもたちには、多様な体験をさせることが肝要。何でも自分でやってみないと分からない。体験させることで、必ず学ぶことがある」「AIに頼らないで自分の頭で考える力を育むことが大事。そのためにも、考えるものになる体験をさせることが重要である」「地域や企業の出前授業等で、子どもたちに考える機会を与えることは継続してもらいたい。子どもたちのためなら、地域としてバックアップしたい」「子どもたちがICTを存分に使いこなしていることに感心するが、一方でメディアリテラシーにも力を入れてもらいたい」「いじめの問題は、保護者が子どもの様子をよく見ておく必要がある。ダメなものはダメだと、子どもたちに徹底する必要がある」等のご意見をいただいた。

地域の方々の力を借りながら多様な他者と出会う機会を大切して、学ぶことが自分の人生や社会とつながっていることを子ども自身が理解し、生活や社会の中で出会う課題の解決に主体的に生かしていく力をつけていきたい。これからも、連携を密にして地域とともにある学校づくりを進めていく。

別紙B

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立塩浜小学校

委員長 今村 将人

校長 山田 賢治

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第1回 運営協議会	認証式・1年生を迎える会の参観 今年度の年間計画紹介、教育活動協議
5		
6	第2回 運営協議会	校内参観（巡回） 1学期の取組紹介・教育活動協議
7		
8		
9	第3回 運営協議会	縦割り班活動・校内作品展参観 教育活動協議
10		運動会参観
11	第4回 運営協議会	表彰・校内音楽会・児童会取組参観 教育活動協議
12		
1		
2	第5回 運営協議会	6年生を送る会リハーサル公開参観 学校評価および本年度の総括
3		卒業式参列